

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記検査項目の内容を変更させていただきますので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《変更日》 平成 15 年 7 月 22 日（火）受付分より

《変更内容》

2002 年 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P . 39	0975	I g E (非特異的 I g E)	検査方法	E I A (F E I A) 法	R I A 固相法 (I R M A)
			所要日数	3 ~ 5 日	2 ~ 4 日
			基準値	1 7 0 IU/mL 以下	2 8 0 IU/mL 以下
P . 78	1256	C A 1 2 5	検査方法	E C L I A 法	R I A 固相法 (I R M A)

< 非特異的 I g E の年齢別基準値 >

年 齢	基 準 値
1 歳未満	2 0 IU/mL 以下
1 ~ 3 歳	3 0 IU/mL 以下
4 ~ 6 歳	1 1 0 IU/mL 以下
7 歳以上	1 7 0 IU/mL 以下

検査報告書における検査結果は 7 歳以上の基準値（170 IU/mL 以下）にて正常・異常を判定いたします。7 歳未満の小児についてはアレルギー検査報告書の裏面あるいは 2003 年版総合検査案内に記載しております上記年齢別基準値をご参照ください。

その他の検査要項に変更はございません。

《変更理由》

非特異的 I g E については、国内での測定頻度が最も高く、特異的 IgE（CAP アレルゲン）検査とも同じ検査方法に変更いたします。また、年齢別基準値（小児の基準値）も併せて設定いたします。

一方、C A 1 2 5 に関しましては、最新の免疫測定技術である ECLIA 法への変更によって、より精度の高い検査結果をご報告いたします。

《現行法と新法の相関》

